

教員養成に対する理念

本学創立者・初代理事長水田三喜男は、建学の理念として「学問はそれ自体が目的ではなく、あくまでも人間形成手段である」を掲げ、本学は創設以来一貫して建学の理念の具現を目標として教育活動を行ってきた。

本学における教員養成の理念は、教職に対する強い使命感を有し情熱と意欲を持ち、自己研鑽に心がけ、人間の成長・発達についての深い理解、児童・生徒に対する教育的愛情、教職専門家としての専門的な力量、人間としての総合的な広く豊かな人間性を持ち、生徒に夢や希望、学ぶことの喜びを与えることのできる、高度職業人としての教員養成である。この理念を具現化するためには、実践的指導力は教場の学問のみではなく、クラブ活動等の体験活動や教育支援ボランティア活動、小・中学校へのスチューデント・インターンシップでの教師体験、地域社会への奉仕活動等を通して養われる。また、地球的な広い視野にたって思考し、判断し、行動する為の資質能力は海外姉妹校への留学、留学生との交流により、異文化への深い理解、英語など外国語によるコミュニケーション能力により、育まれるものであると考えている。